

## 地域再生プロジェクトの実施結果調書

市町村名	釧路市
------	-----

## 1 地域再生プロジェクト実施結果（プロジェクト全体）

（ 3年計画のうち 1年目）

実施地域	市町村名： 釧路市 民間団体名： 市内事業所、くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センターぶれん、(特) 駆け込みシェルター釧路、タクシー会社3社、(社) 釧路市社会福祉協議会 外	計 1市町村 7団体外
プロジェクト名： 釧路「ワーキング&コミュニティ」再生支援事業	格差の分野： 地域経済の格差	
地域の課題及び 地域再生プロジェクト の目標	<p>◆ 地域の課題</p> <p>・ 釧路市の有効求人倍率は過去3カ年平均でも0.44と、全国的にも低い。これら雇用環境の低迷は障がい者、母子世帯など社会的弱者の就業悪化を招き、全国的にも高い生活保護受給比率を呈している。特に母子世帯では稼働割合が高いものの生活保護基準を下回っているのが顕著である。これら就業の不安定化が引いては、社会的弱者の孤立、健康不良化につながり社会保障費の増大を招くばかりでなく、児童養育放棄、虐待、不登校など、次世代人材育成にも深い影響を及ぼしている実態がある。これら課題の克服には雇用環境の改善もさることながら、就業過程に至るまでの行政、市民の協力など「地域コミュニティによる支え合い」が課題となっている。</p> <p>◆ プロジェクトの目標</p> <p>・ 住み慣れたまちで、いつまでも暮らしていけるための「就労に係る新たな公共サービス」を地域住民、行政の協働により担うとともに、身近な公共空間などを活用し、当事者相互で「支え合うコミュニティ」の形成を図る。</p>	
取組の成果	<p>住民等の評価</p> <p>・ 「障がい者にやさしい街くしろ」のシンボルマーク募集に、小中高生から多数の応募があり障害者施策への関心を高めることとなった。障害者支援施設情報の作製により授産製品等の周知が広まった。</p> <p>・ 母子家庭の母の就労支援として、就労経験や社会経験が不足し、すぐに就労に結びつかない要支援の母を対象にしたあけぼのママースクールや、子育てや未就労等のため積極的に就労に結びつかない母を対象にステップ3までの就労セミナー（ウォーミングアップセミナー・パワーアップセミナー・企業研修セミナー）を開催。各事業を実施するにあたり移送手段等を持たない母子家庭の母に、移送サービスや託児サービスを提供した結果、あけぼのママースクールや就労セミナーへの積極的な参加があり、母たちの表情が如実に変化してきた。また、事業終了後のアンケート結果でも、就労への意欲が伝わってきている。</p>	
	<p>計画に対する達成度</p> <p>・ シンボルマークの応募件数 251名277件（うち小学生115件、中学生39件、高校生94件）、就労支援セミナー参加者 約100名、障がい者就労貢献企業認定 20件</p> <p>・ あけぼのママースクールは、要支援の母を対象にしていることから1回目の開催時には指導の困難性が感じられたが、回を重ねるごとに母たちの表情が変化し、積極的に参加するようになって来た。また、社会ルールの希薄さが改善されつつある。</p>	
	<p>具体的な効果</p> <p>・ 障害者支援施設等への業務依頼、授産製品の購入依頼</p> <p>・ あけぼのママースクールに戸惑いながら参加していた母たちが、就労セミナーに参加を希望し就労への意欲をみせるなど、積極的な社会参加に繋がるケースがあった。</p> <p>就労セミナー終了後就労に結びついたり、企業研修セミナーに参加し介護職に自分の適正を見出し、資格取得を希望するケースがあった。就労セミナーを実施するにあたり企業や関係法人、団体の理解が得られたこと、連携が図られ次年度に繋がる。</p>	<p>交付金支援期間終了時の成果目標に対する現時点での達成状況</p> <p>・ 施設入所障がい者の一般就労への移行拡大（釧路市障害福祉計画H19.2） 平成21.4.1 1人→21人</p> <p>・ 被保護母子世帯の稼働率向上（H20.4.1現在49%→H21.4.148%）</p>

プロジェクト推進上の課題・問題点	<b>課題点等</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・一般就労への移行はもちろんであるが、市内における地域活動支援センターや就労系事業所の障がい者就労工賃は、道平均を下回っており、工賃向上に向けた方策が今後の検討課題である。</li><li>・企業研修セミナーについて、20年度は1回開催したが、実施した期間に参加できない母がいたことや、研修の職種が介護職だけであったことから、開催時期や回数の見直し、職種の開拓が必要と思われる。</li></ul>
	<b>課題を踏まえた今後の展開</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・職場実習：障がい者の適正把握、就労に必要な訓練を行う。就労貢献企業の啓発：就労貢献企業における障がい者の業務内容を広報紙に掲載することにより、制度紹介、貢献企業の周知、障がい者雇用の啓発を行う。</li><li>・就労セミナーのステップ3（ウォーミングアップセミナー・パワーアップセミナー・企業研修セミナー）まで脱落者が出ないようにケアしながら実施。企業研修セミナーの参加希望者のために複数回の開催。企業研修セミナー実施のための企業等の開拓（関係部との連携）あけぼのママースクールに参加している母たちのステップアップ（就労セミナーへの参加）</li></ul>

## 2 地域再生プロジェクト構成事業（今年度実施分）

### （1）実績額について

（単位：千円）

No	事業名 ----- 実施主体 ----- 実施年度	事業費	財 源 内 訳					交付金要望額
			国の支援制度	道の支援制度	市町村補助等	自己財源	その他	
1	障がい者就労支援強化事業	( 4,100)	( )	( )	( )	( 4,100)	( )	( 4,100)
	市、企業、住民 20年度～22年度	1,359				1,359		1,355
2	あけぼのマミースクール	( 2,388)	( )	( )	( 1,629)	( 759)	( )	( 2,388)
	市、企業、住民 20年度～22年度	408			106	302		408
3	母子就労ウォーミングアップセミナー	( 1,581)	( )	( )	( 1,431)	( 150)	( )	( 1,431)
	住民、企業 20年度～22年度	378			354	24		354
4	母子就労パワーアップセミナー	( 1,602)	( )	( )	( 681)	( 921)	( )	( 1,602)
	市、企業 20年度～22年度	388			95	293		388
5	母子就労企業研修セミナー	( 1,932)	( )	( )	( 1,551)	( 381)	( )	( 1,932)
	市、企業 20年度～22年度	395			142	253		395
6	小学校跡を活用した地域コミュニティ醸成事業	( 53,555)	( 26,614)	( )	( )	( 26,941)	( )	( 0)
	市・(公・住) 20年度～年度	53,555	26,614			26,941		
7		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( 0)
	年度～年度							
計	事業数 [ 6 ]	( 65,158)	( 26,614)	( )	( 5,292)	( 33,252)	( )	( 11,453)
	実施主体数 [ 15 ]	56,483	26,614		697	29,172		2,900

注 1 プロジェクトを構成する全事業の実績について記載すること。

2 記載に当たっては、別記第2号様式に準じること。

(2) 実施内容について

No	事業名	計画内容	実施状況	効果・課題	今後の展開
1	障がい者就労支援強化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者就労貢献企業認定制度</li> <li>福祉的就労と企業ニーズのマッチング事業</li> <li>障がい者雇用促進セミナー</li> <li>福祉的就労事業研究会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者就労貢献企業認定制度の制定</li> <li>シンボルマークの公募</li> <li>障害者支援施設情報の作成</li> <li>障がい者雇用促進セミナーの開催</li> <li>工賃倍増モデル事業の報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貢献企業認定件数 20件</li> <li>シンボルマークの応募件数 251人 277件</li> <li>セミナー参加者 約100名</li> <li>福祉施設から一般就労への移行数 21名</li> </ul>	職場実習 就労貢献企業の啓発
2	あけぼのママスクール	養育支援が必要な母親へ保育士による①基本的な生活習慣の指導②育児指導③食事指導④社会参加のためのコミュニケーションの訓練を行う	<p>【開催回数】12回 【参加延人数】51名 【主なメニュー】 手縫いの巾着作り、お茶会、おにぎりの作り方実習、絵本の読み聞かせ、わらべうた</p>	<p>【効果】 回を重ねるごとに参加者の表情も変わり、子への係わり、他参加者とのコミュニケーションの取り方にも成長が見られた 【課題】 どの段階で次のステップに進ませるかの判断</p>	参加者のステップアップ（就労セミナーへの参加）
3	母子就労ウォーミングアップセミナー	就労への第一歩として外へ出るきっかけ作りに、覚えておくと役に立つ基本的な事柄をテーマに5日間の講座を開催 NPO法人駆け込みシェルター釧路が市の補助金を受け実施	<p>【開催日】9月17日～9月21日 【参加延人数】92名 【カリキュラム】 カラーコーディネイト、（自分に似合う色）、ストレッチ体操、メイクアップ教室、（セルフメイクレッスン）、パソコン教室（2日間）</p>	<p>【効果】 比較的参加しやすいメニューのため予定を上回る参加希望があり、外へ出るきっかけ作りとなった 【課題】 パソコン教室については、個々の習得状況の違いが大きかったことから実習方法についての検討が必要</p>	引き続きNPO法人駆け込みシェルター釧路が就労に向けたコーディネート事業を実施
4	母子就労パワーアップセミナー	就職試験や就職活動に役立つ実践的な事柄をテーマに5日間の講座を開催	<p>【開催日】9月29日～10月3日 【参加延人数】72名 【カリキュラム】 自己分析、（エゴグラム診断）、ビジネスマナーⅠ、（敬語の使い方、聞き方、話し方）、ビジネスマナーⅡ、（電話対応）、履歴書（職務経歴書の作り方）、面接対策（第一印象の大切さ）</p>	<p>【効果】 5日間継続してのセミナー参加により、達成感が大きく、面接への自信、就労への意欲も感じ取れた 【課題】 実践が少なく受身型の講習内容</p>	ワークショップ型の講習を増やすことで、更に面接や就職活動への自信をつける
5	母子就労企業研修セミナー	職業意識の向上や未経験の仕事の適正を見極める目的で一般企業等での体験セミナーを開催	<p>【開催日】1月26日～1月30日 【参加延人数】26名 【実習先】 ほしがうらでいびセンター てつほくでいびセンター ぼうようでいびセンター</p>	<p>【効果】 未経験の仕事の適正を見極めることができ、資格取得や就労先を探すうえでの自信となる 【課題】 開催時期や回数の見直し、職種の開拓</p>	段階を追ってのセミナー参加者のみではなく、資格取得、就職先を迷っている者にも参加を働きかけ、希望者の随時受入れを目指す 実習受入れ企業の開拓
6	小学校跡を活用した地域コミュニティ醸成事業	地域交流と活性化に取り組む市民団体が公的なサービス提供を行うため学校跡空間を使用し、「コミュニティ・レジ」など地域高齢者や障がい者の雇用拡大や子育て世代を支援するコミュニティサービスを行う。	<p>【竣工】1月26日～1月30日 【入居団体】 消防団、シルバー人材センター、NPO法人こぶし作業所、おもちゃライブラリー</p>	<p>【効果】 学校統廃合による旧校舎を地域コミュニティに資する団体利用のための施設として活用を図ることにより、地域の活性化を図ることができる。 【課題】 自主的な運営方法による円滑な管理</p>	各団体のテーマコミュニティの醸成と団体連携による新たな事業の展開

注 1 (1)に記載した番号に対応する事業について、単年度の状況及び効果や課題を踏まえた今後の事業展開を記載すること。